

生理心理学研究

[研究] 第1・2学年 選択 2単位

《担当者名》百々 尚美 (ndodo@hoku-i-ryo-u.ac.jp)

【概要】

生理心理学に関連した最新の研究領域の知見を深め、課題研究へ進め、博士論文の完成を目指す。具体的には研究テーマに関して、先行研究の詳読、作業仮説の作成、研究計画、方法（研究協力者、臨床現場、装置など）、データの分析法、考察、文献リスト作成などを指導し、学術雑誌に投稿する論文作成を指導する。

【学修目標】

様々な行動問題、臨床心理学的問題を理解するための一つの観点として、生理心理学的視点を見に着け、活用することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	受講者の研究背景についての発表、この授業についての説明	百々 尚美
2~4	テーマの選択	・この授業で対象とする臨床心理学的問題の決定 ・最新の論文の選定	百々 尚美
5~15	ディスカッション	・論文の要約発表 ・論文内容についてのディスカッション ・関連する生理心理学的知見の開設	百々 尚美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業における参加姿勢、ディスカッションの内容を基に総合的に評価する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

【備考】

- 学習教材（授業資料）の配信、学習課題の提示
 - 授業資料の配信はGoogle Classroomを利用して学習課題を提示する
- 授業に関する学生相互の意見交換やグループ学習の実践
 - 学生相互の意見交換を目的にGoogle Classroomを活用する
- 任意の時間での授業の受講
 - Google Classroomを利用したオンデマンド型授業、オンライン授業を行う場合もある
- 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
 - Google Formを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する
- 欠席回数について
 - 各自で責任を持って管理すること（欠席回数についての問い合わせには原則応じない）。
- 課題について
 - 課題の提出締切を厳守すること（遅延の場合は課題の評価は減じられる）
 - 課題内容において、剽窃などの不正がなされることは極めて低劣な行為であり、いかなる事情があろうとも忌避されるべきものである。そのような不正が発覚した場合、あるいは強く疑われる場合には、以降、その学生からの提出物は評価の対象から除外する。

【学修の準備】

- 予習について
 - シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること（80分）
- 復習について

- ・ 講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと (80分)

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

DP 2 . 心理学領域において自立した研究者として必要な研究能力を有している。

DP 3 . 先端的な専門知識および技能を修得し、学術研究を開拓的に前進させる能力を有している。

上記、心理科学研究科博士課程ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師の有資格者が行う。

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。